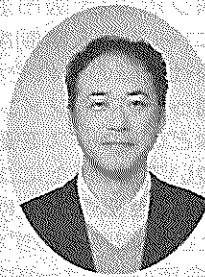


# キャリア権の時代



法政大学大学院  
政策創造研究科  
教授  
石山 恒貴

NPO法人キャリア権推進ネットワーク  
「キャリア権推進研究会」

【第13回】

授業「コマ90分」

前回の連載でご説明させていただいたとおり、2013年中に出前授業の開発が実施された。出前授業は大学の授業「コマ」を想定しているため、時間は90分である。授業の概要は次のとおりである。



社会人交え活発に話し合う

くだろうと信じて疑わなかった主人公が職場になじめず、自分のやりたかったことも見失ってしまった状況だ。この主人公が、いかに自分で決め、学び、働けば幸せになることができるのか、それを受講者に討議してもらう。

出前授業は、2014年5

### 開発者も討議参加

受講者の感想として多かった内容は「キャリア権という言葉は初めて聞いたので驚いた」「就職できたなら安心というわけでなく、その後何を学んでいくかが大切だと思った」「キャリア権の定義のとおりに、職業生活で幸福を追求しなければ、人生の大部分は幸せにならない」「現実の会社のあり方がリアルに分か

のリアルな現実を疑似的に体験できることが興味深かったようだ。授業には、出前授業を開発した数人の社会人が参加する場合もあり、一部のグループにはその社会人も討議に加わった。社会人が加わったグループの満足度は、より高かったようだ。

## リアルな理解を促進

### 70人規模で「出前授業」

まず講師が、簡単にキャリアという概念について説明し、その後キャリアケース

1スに関する討議の方法を説明する。受講者は個人でキャリアケースを読み込み、次に5〜6人のグループにわか

い、質疑応答する。そして最後に、キャリア権の概要について講師が説明する。

月から7月にかけて、3大学の計5コマの授業枠で実施。1授業当たり、平均70〜80人の受講者の規模で実施した

れ、グループ討議を行う。グループ討議の時間は30分程度である。討議終了後、いくつかのグループに発表してもら

後の若手の社員が遭遇する困難な状況を設定している。充実した学生時代を過ごし、会社生活も同じようにうまくい

の計5コマの授業枠で実施。1授業当たり、平均70〜80人の受講者の規模で実施した

か、グループに発表してもら

の計5コマの授業枠で実施。1授業当たり、平均70〜80人の受講者の規模で実施した

の計5コマの授業枠で実施。1授業当たり、平均70〜80人の受講者の規模で実施した

か、グループに発表してもら

の計5コマの授業枠で実施。1授業当たり、平均70〜80人の受講者の規模で実施した

の計5コマの授業枠で実施。1授業当たり、平均70〜80人の受講者の規模で実施した

受講者してみると、会社

い。

い。